データ活用による地域包括ケアシステムの評価とマネジメント戦略

保健医療福祉学研究科・研究開発センター
筒井孝子　教授

【研究分野】　地域包括ケアシステム　保健医療福祉政策・マネジメント、介護人材、介護サービス供給・評価
【キーワード】システムのデータ駆動型分析・改善、ケアニーズの多角的アセスメント手法、
多職種協働による地域包括ケアシステム構築の推進、発展
【U　R　L】　https://researchmap.jp/read0086731

研　究　概　要

現場の課題解決と政策形成に貢献すること、そして、データに基づいた科学的アプローチによって、複雑化するヘルスケアシステムの質向上と持続可能性追求に寄与することを意識して研究に取り組んでいます。

中心的な研究テーマの一つは、
地域包括ケアシステムの構築・評価・マネジメントです。近年は、システムの機能評価（保険者機能評価）指標や生涯費用推計モデルの開発などを通じ、地域包括ケアシステムの効果的・効率的な運営の方法を模索しています。

第二のテーマとしては、
深刻な人手不足に直面する介護分野における人材育成と質の向上に関する研究に取り組んでいます。介護プロフェッショナルキャリア段位制度などの実践的スキル評価指標を活用し、それをＯＪＴ（現場教育）や人材マネジメント手法の開発に結びつけることで、実践的なスキル向上と定着支援策を提示しています。

研　究　紹　介

主要研究領域1：地域包括ケアシステム（Community-based Integrated Care Systems）
システム評価とマネジメント、モニタリングシステム、費用分析、政策・実践との連携
主要研究領域2：介護人材（Long-term Care Workforce）
スキル評価と研修、労働安全、マネジメントと労働環境、外国人材
主要研究領域3：看護必要度（Nursing Care Needs Assessment）
開発と改訂、マネジメントへの応用、予測モデル、信頼性確保と研修
主要研究領域4：介護サービス供給と評価（Long-term Care Service Supply & Evaluation）
供給構造分析、サービス利用パターン、費用と効果、質評価

講 座 テ ー マ 紹 介

- **データ活用による地域包括ケアシステムの評価とマネジメント戦略立案**
- **データを活用した多職種連携と情報共有の実践**
- **看護必要度データのマネジメント活用術：適切な人員配置とケアの質向上**
- **介護プロフェッショナルキャリア段位制度を活用したＯＪＴと人材育成**

アピールポイントなど

医学、工学、福祉学、経営学といった学際的な視点から研究に取り組んでいます。
単一分野の視点では捉えきれない複雑なヘルスケアシステムに対しては、多角的な研究アプローチが必要になります。
官界(国・地方自治体)、産業界(医療・介護事業者、関連企業)とのネットワークを活用した多機関連携プロジェクトの推進、研究成果の普及・展開をしていきたいと考えています。